

7月も暑い日が続く中、今年は降水量も少なく水不足が心配されます。今後はさらなる高温が懸念され、台風やフェーン現象が起きた場合は事前に水を張り、高温や乾燥の被害を防ぐように気を付けましょう。また、7月中旬からニカメイチュウ、下旬頃に紋枯病の発生が懸念されますので、毎年発生する圃場については薬剤散布等で対策しましょう！

1. JA生育調査状況(7月8日現在)

①JA全体(移植)

年度	移植日 (平均)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色
R8	5/20	63.7	566	4.3
R7	5/18	72.8	605	4.2

【前年比】

■草丈:短い ■茎数:やや少ない ■葉色:同等

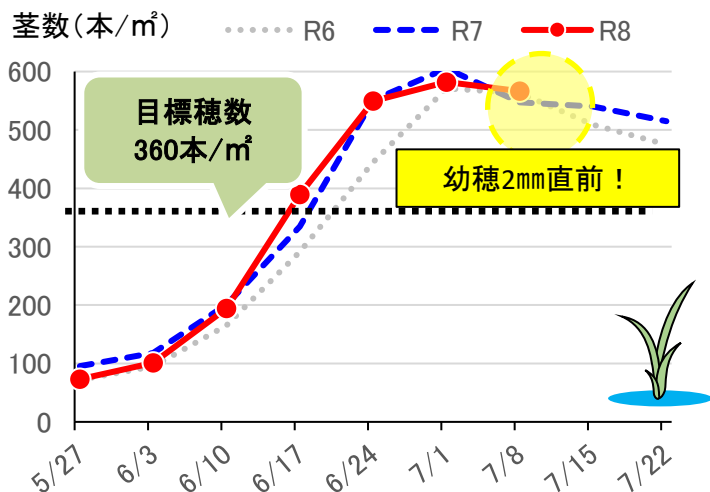
② 気象状況:7月2日～7月8日(平年差)

- 平均気温 : 同等(▲0.3℃/日)
- 降水量 : 少雨(81%)
- 日照量 : 同等(▲0.1時間/日)

③ いちほまれの生育状況

連休移植等で移植が早いところは幼穂形成期に入っていますので、生育状況を確認し、間断通水を開始しましょう。

2. 茎数の推移について(7月8日現在)



坂井地区 5/15移植

3. いちほまれの今後の管理について

①斑点米カメムシ防除

福井農業試験場は、7月上旬の水田周辺雑草地における斑点米類の生息数は、平年よりやや多いと発表しました。出穂していない水田内への侵入も確認され、今後もカメムシ類が増殖することが予測されます。斑点米カメムシ類の徹底した防除を行いましょう。

②間断通水の実施

幼穂形成期からの水管理が重要となります。中干し終了後は、間断通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

収穫直前まで実施！



田面がカラカラに乾く
まえに入水しましょう。



ブランド米「いちほまれ」のお問い合わせは、担当営農指導員までお願いします。